心の平和と生きる

徳島県・三好市

山里に残る日本の暮らしと原風景

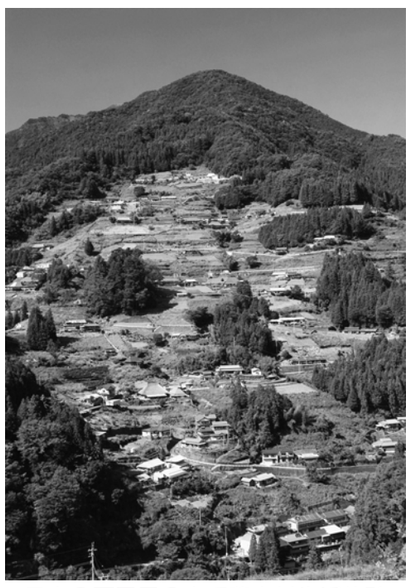
そらの郷

「そらの郷」と古くから呼ばれる徳島県西部の山岳地帯は、四国の中央に位置する「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」（美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町）にあります。西日本第二の高峰「剣山」を臨み、四国三郎「吉野川」と共生する当地は、まさに日本の原風景そのものであり、他の地域では忘れられつつある、古き良き素朴で温かみのある暮らしが今も息づくとともに、「祖谷のかずら橋」や「うだつの町並み」をはじめとする文化遺産や、豊富で新鮮な食材など、魅力的な地域資源にあふれています。

私たちは、この恵まれた環境で、あるがままの暮らしの中へ、日本の未来を担う生徒たちを迎え入れ、地域住民との生活体験を通して交流し、生業の喜びや大変さ、不便さなどを伝え、それに挑む精神力、乗り越える達成感、感動を体得させ、心の豊かさと生きる力を育みます。農山村の暮らし体験「民泊」は地域の生活体験を通して、自然の恵みに感謝し、人と人との関わりや絆など、真の豊かさとは何かを体験を通して伝え、生徒たちと受け入れ家庭が「心の交流」を行い、互いに高まりあう「精神文化の向上」を最大の目的にしています。地域内160軒、国三郎とも呼ばれる暴れ誇りの高揚のために、今まで以上に「安全・安心」の農山村生活体験・民泊づくりの構築に努めています。

また、吉野川は別名四

同時受け入れ480人可能の民泊家庭は日本の未来を担う青少年の健全な育成に関わるのだという自負を持ち、地域振興のため、さらには、地域住民の地域に対する自信と川ですが、普段はその豊富な水量のおかげで豊かな恵みをもたらしてくれる命の川です。そんな人々の暮らしを支えるもう一つの川の恩恵がラフティングに代表されるリバースポーツです。そらの郷の山並みを深い渓谷で刻み、荒々しく、時にはゆったりと流れる川面に身を任せるとき、自然と一体となった感動を味わうことができます。吉野川を愛してやまないリバーガイドが、川や自然との付き合い方を民泊とは異なる視点から、そらの郷をご案内します。


日本の原風景の中で農山村生活体験

山里で農作業体験

お茶作りにも挑戦

吉野川で人気のリバースポーツ・ラフティングを体験

山里の伝統そば打ちを体験

一般社団法人 そらの郷
営業時間　平日８：30～17：15
※内容のお問い合わせは事務局・得田までお願いします
〒778-0003 徳島県三好市池田町サラダ1893-1
TEL 0883-76-0713　FAX 0883-72-0753
E-mail:sora@cn05.awaikeda.net
URL http://www.soranosato.jp/

高知県・四万十市

何にもないのに、なんでもある

山、川、海の自然～しまんと・あしずり

四国の西南部に位置する高知県のしまんと・あしずり（幡多）地域は、日本最後の清流と言われている「四万十川」を中心に「足摺岬」など山、川、海と多様な自然環境に恵まれた地域です。

この地域性を生かし、2016年3月に高知県で開催される「全国ほんもの体験フォーラム」に向け全国に誇れる体験型観光地を目指しています。

体験プログラム

体験プログラムは「何にもないのに、なんでもある」をキーワードに豊かな自然が残っている田舎だからこそできる体験を中心に、食、文化、漁業、農林業など70種類を超える体験プログラムを提供しており、近年、ニーズの高まっている農山漁村での生活体験の受け入れ家庭も100軒を超え1日最大300人程度の受け入れが可能となってきております。

また、人気の高い高知の食文化の代表でもある「鰹の藁焼きたたき作り体験」は、漁師のおじさんがインストラクターとなり生徒自ら鰹一本を丸ごと捌いて藁で焼き、たたきを作って食べます。

この体験によりカツオ漁の歴史や高知の食文化などを感じることで食材への感謝の気持ちを育むと共に魚嫌いの生徒も自然と食べることができるようになります。

また、最後の清流四万十川が体験できる「カヌー体験」では、初心者でも安全かつ気軽に体験できますし、カヌーから見る自然景観は都会で見る事のできない貴重な体験となります。

新たな取り組みでは、地震などの自然災害から身を守り生きる力を育てる「防災学習」がプログラム化され本年10月に教育旅行の受け入れが予定されています。

受け入れ体制

受け入れ窓口の幡多広域観光協議会は、高知県の幡多6市町村（四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村）の官民が一体となって組織しており、体験プログラムの造成、販売、誘致活動の実施や広報PRに取り組んでおります。

受け入れでは、関係団体や地域が一体となったネットワークを築き、安全対策や安全なプログラムを提供できるよう取り組んでいます。

幡多でしか体感できない豊かな自然、食、伝統文化、生活などを体験していただき人との心のつながりを感じていただくことで教育旅行先として選ばれるよう取り組みを進めています。

民泊先で触れ合いのひととき

地域の名物カツオのたたきを体験

清流四万十川でカヌー

漁業体験（上）とホエールウォッチング

一般社団法人幡多広域観光協議会
〒 787-0015高知県四万十市右山383-1
TEL0880-31-0233 FAX0880-31-0660
E-mail:syuryo@hata-koiki.com
URL http://www.hata-koiki.com/

長崎県・五島市

おかえりなさい、心のふるさと五島へ。

オンリー1のおもてなし～五島感動しま旅！

五島列島最大、日本でも10番目に大きな島・福江島を中心に、11の有人島と52の無人島からなる五島市。美しい海と豊かな自然が溢れ、四季を通じて釣りやマリンスポーツなどが楽しめます。

古くは遣唐使の寄港地として海外交易の拠点として栄え、またカトリック信仰の地として多くの教会が点在し、さらに倭寇や空海の伝説が残り、城郭や武家屋敷など歴史文化遺産も豊富です。特に教会については、現在長崎県や関係市町と連携して、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録を目指しています。

五島感動しま旅！とは

五島市では現在、豊かな自然と多様な農林漁業の営み、歴史や文化を活かした体験交流型教育旅行の受入を推進しています。「五島感動しま旅！」と銘打った一連のプログラム群でこだわっているのは、「ほんもの体験」と「一島一校限定」の受け入れ対応など島をあげたオンリー1のおもてなしです。

五島に生まれ育った人たちとの深い交流を通して、豊かな食文化や生活文化、あるいは農林水産物の価値を学び、一方で心地よい人間関係や家族の絆の尊さを伝え、自らそれを構築していく力を高めてもらうこと、それが五島感動しま旅！の目指すところです。

400人受け入れが可能な民泊

五島感動しま旅！の根幹は、島の暮らしをどっぷりと体験する「民泊」です。市内各地区で最大100軒400人の受け入れが可能で、ありのままの暮らしの中、生徒の皆さんをお客さまではなく家族の一員として迎え入れます。

一方「体験」は、民泊先をはじめ島民と一緒に過ごすふれあい交流体験、島ならではの漁業体験、豊かな自然体験など多様なプログラムを用意し、季節や希望に応じたコーディネートを実施します。

ふれあい交流体験

ふれあい交流体験は、民泊先をはじめ島民とのふれあいを通して生まれる温もりや思い出、あるいは絆といったものに力点を置きつつ、昔ながらの島の暮らしを体感してもらうプログラムです。民泊先での家業体験をはじめ島民や地域のさまざまな文化にふれる交流体験は、心高まる人気のプログラムです。

豊富な漁業体験などの選択プログラム

漁業体験は、波止釣り、船釣り、定置網、刺し網、地引網の各体験に加え、五島ならではのすけ漁、灰ダコ捕り、ウニ割り体験などを実施しています。

定番の「波止釣り」は、地区や時期に関わらず実施できる上、アジやカサゴ、ベラなど釣った魚を持ち帰り、民泊先で自ら料理して食べることができます。

また、日本一美しいと言われる砂浜を持つ高浜海水浴場でのビーチウォッチングをはじめ、シーカヤックやペーロンなど海に関連する多彩な体験のほか、自然体験や農林業体験、伝統工芸体験、味覚体験など五島ならではの豊富なプログラムをご用意しています。

中学校モデルコース

長崎平和学習と五島民泊が定番のコースとなります。民泊1泊の場合は、ふれあい交流（家業）体験を組み合わせることで深い交流に繋がります。民泊2泊の場合は、中日にふれあい交流体験と選択プログラムを組み合わせることで更に深い交流と達成感、そして大きな感動をもたらします。

五島市の強みと特徴

民泊と海を主舞台にした体験、さらに島ごとに他校受け入れのない「一島一校」の受け入れポリシー、そして地元の伝統芸能やご当地ゆるキャラなどを織り交ぜたお出迎えと、フェリーからカラーテープの舞う島ならではのお別れの光景など、五島ならではオンリー1のおもてなしが強みです。

皆さまのお越しを心よりお待ち申し上げます。

ほんもの体験が生む民泊先でのふれあい

ふれあい交流体験

波止釣り体験

真っ白い砂浜と澄みきった海で知られる高浜

一般社団法人五島市観光協会
〒853-0015 長崎県五島市東浜町2-3-1
TEL 0959-72-2963 FAX 0959-74-3215
URL http://www.gotokanko.jp/

長崎県・壱岐市

新たな出会いと感動が待っている

壱岐市では、ホテル・旅館、民宿などの宿泊施設を活用した修学旅行の受け入れを1980年から実施しており、これまで約15万人以上の生徒が修学旅行で壱岐の島を訪れています。

壱岐の島ならではの体験メニューとして、美しい砂浜や海で行うマリンスポーツ体験はもちろん、竹竿を使っての魚釣りやみんなで引く地曳網などの漁業体験、野菜収穫や田植え・稲刈りなどの農業体験、鬼凧作りや貝細工などの工芸体験、ひきとおしや壱州豆腐などの郷土料理作り体験などが、島の自然やそこに暮らす人々、そして人々が築いてきた文化を活かした多様な体験メニューを実施しています。

また、2010年3月に開館した「壱岐市立一支国（いきこく）博物館」には、国指定特別史跡である「原ノ辻（はるのつじ）遺跡」から出土した数々の貴重な遺物が展示されており、ビューシアターやジオラマ模型などを通して、魏志倭人伝に登場する一大国（いきこく）が、大陸との交流拠点であったことも分かりやすく学習することができるのである建造物が当時の工法で忠実に復元されており、まるで弥生時代の一支国へタイムスリップしたような気分を体感することもできます。

もちろん歴史だけではなく、船釣り体験や畜産体験などの新しい一次産業体験メニューも造成、整備を進めており、教育旅行だけでなく一般旅行でのファミリー向けにも学習要素の高い体験メニューとしてご提案を行っています。

壱岐市観光連盟では、壱岐市内の修学旅行受け入れ団体、都市農山漁村交流活性化機構登録の農林漁業体験登録民宿と連携を図りながら、修学旅行や教育旅行の受け入れを行っています。現在まで培われてきた現場でのノウハウを共有しながら、壱岐市における総合的な教育旅行の受け入れ窓口として取り組みを続けているところです。

また、14年4月から地域限定の旅行業も取得し、修学旅行のみならず、近隣大都市である福岡市や、唐津市を航路玄関口とした体験学習の受け入れも今後積極的に取り組みを進めていきます。

売りのプログラム

船釣り体験

現役漁師が指導する船釣り体験で、道具の使い方や魚のさばき方なども指導します。

農業・畜産体験

かつもとファームを舞台に、旬の野菜収穫体験や、黒毛和牛（壱岐牛）とふれあう畜産体験を通して循環型農業の学習を行います。

シーキャンドル作り体験

壱岐の美しい浜辺で拾った貝殻を使ってグラスの中に小さな「壱岐のうみ」を創ります。

壱岐の島ならではの自然環境観察体験

壱岐名物の郷土料理作りを体験

船釣り体験

シーキャンドル作り

農業畜産体験

壱岐ちゃり（電動アシスト自転車）

一般社団法人　壱岐市観光連盟
教育旅行担当　酒井裕太郎
営業時間　平日８：30～17：15
〒811-5133 長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触683-2
TEL.0920-47-3700 FAX.0920-47-5302
E-mail:E-mail. info@ikikankou.com
URL http://www.ikikankou.com/